

前橋文学館
開館記念イベント

今野敏 × 萩原朔美 対談



前橋文学館は今年開館33周年を迎えます。
これを記念し、作家・今野敏氏と前橋文学館
特別館長・萩原朔美の対談を開催します。
空手仲間でもあるお二人の絶妙な掛け合いを、
どうぞお楽しみ下さい。

2026.9.5[土]

14:00～[開場13:30]

前橋文学館3階ホール

対象 | 一般、先着100人

観覧料 | 700円(高校生以下無料)

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料

要予約 | 8月3日[月] 9:00より

二次元コードの申し込みフォームでお申し込みください。フォームからお申し込みできない方は前橋文学館(☎027-235-8011)へ



今野敏 Bin Konno



萩原朔美 Sakumi Hagiwara



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

前橋文学館開館記念イベント

今野敏 × 萩原朔美 対談



このびん 今野敏 プロフィール

1955年北海道生まれ。上智大学在学中の78年に「怪物が街にやってくる」で問題小説新人賞を受賞。レコード会社勤務を経て執筆活動に専念する。2006年『隠蔽捜査』で吉川英治文学新人賞、08年『果断 隠蔽捜査2』で山本周五郎賞と日本推理作家協会賞、17年「隠蔽捜査」シリーズで吉川英治文庫賞、24年日本ミステリー文学大賞を受賞。

「安積班」「ST警視庁科学特捜班」「任侠」「警視庁強行犯係・樋口顕」「隠蔽捜査」シリーズなど、人気シリーズ多数。

近著に『職分』『白露 警視庁強行犯係・樋口顕』『分水 隠蔽捜査11』『明鏡 東京湾臨海署安積班』『安恒』など。

近著紹介

『安恒』

集英社 2026年8月

『明鏡 東京湾臨海署安積班』

角川春樹事務所 2026年3月

『分水 隠蔽捜査11』

新潮社 2026年1月

『白露 警視庁強行犯係・樋口顕』

幻冬舎 2025年11月

『職分』

双葉社 2025年9月



はぎわらさくみ 萩原朔美 プロフィール

1946年11月14日東京生まれ。映像作家、エッセイスト。多摩美術大学名誉教授。金沢美術工芸大学客員教授。母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。1967年、寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷の立ち上げに参加、俳優・演出家として活躍。1975年、月刊誌「ビックリハウス」をパルコ出版より創刊し、初代編集長を務める。

著書に『「演劇実験室・天井桟敷」の人々』（2000年）『毎日が冒険』（2002年）『死んだら何を書いてもいいわ』（2008年）『劇的な人生こそ真実』（2010年）他多数。

2016年4月より前橋文学館館長。2022年4月よりアーツ前橋アドバイザー。2024年4月より前橋文学館特別館長。



◎アクセス◎

電 車：JR前橋駅北口から徒歩約15分／タクシーで約10分
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

バ ス：JR前橋駅北口バスのりば
・3番のりばから「中央前橋駅」行き（シャトルバス）
「中央前橋駅」下車 徒歩約5分
・6番のりばから「萩窪公園・嶺公園」行き
「城東町二丁目バス停」下車 徒歩約5分

自動車：関越自動車道 前橋ICから車で約15分
※広瀬川サンワパーキング（市営P城東）のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>

現在の企画展

2階
企画展示室

萩原朔太郎生誕140年記念展
「ふらふらふらぬ〜 朔太郎の危険な散歩」
6月13日㊥～9月6日㊥

3階
オープンギャラリー

「音楽する写真ー萩原朔美の前橋10年」
5月30日㊥～9年1月24日㊥